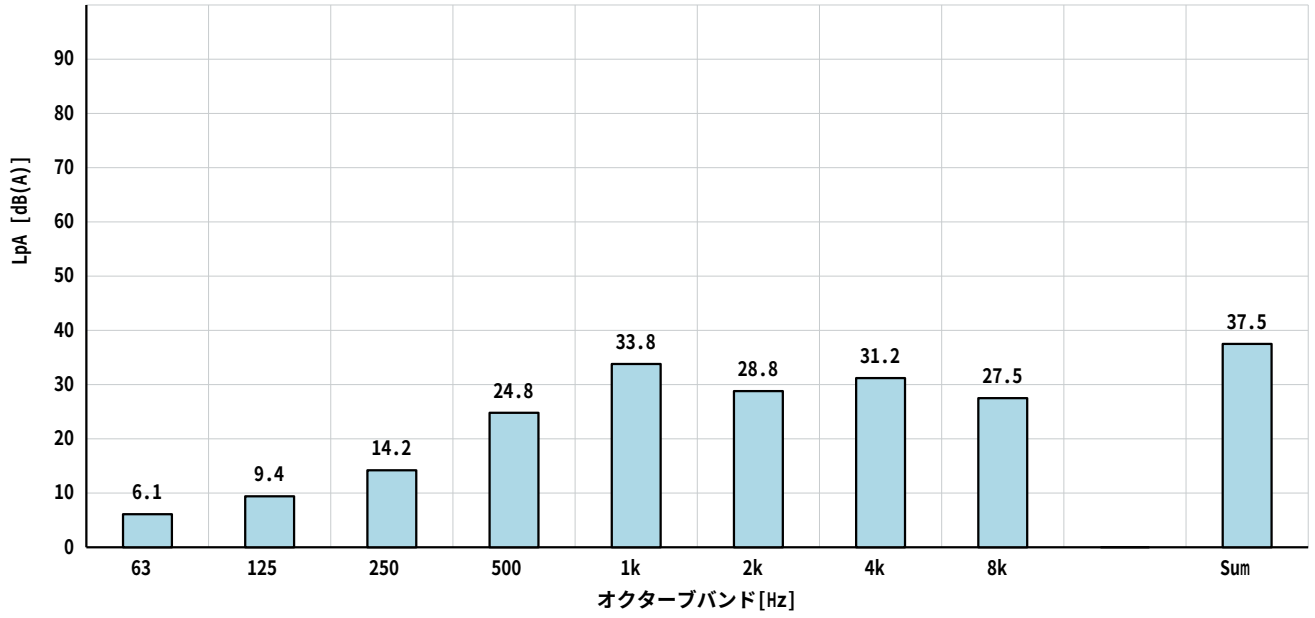
音響測定レポート

ISO 3745

オブジェクト:	電動機タイプ: MLE71A	定格電圧:	[V]
		f:	[Hz]
		P2:	[kW]
		n:	[rpm]
テスト条件:	Load: No load / Idle	サウンド試験:	[V]
		f:	[Hz]
		P2:	[kW]
		n:	[rpm]

コメント:



音圧レベル L_{pA} : 37.5 [dB(A)]

音響パワーレベル L_{WA} : 49.5 [dB(A)]

注記:

参考:

- 音響パワー値L_{WA}はIEC 60034-9、ISO 3745およびISO 4871に従って決定されています。 (IEC 60034-9, ISO 3745 & 4871)
  - 関連する不確かさK_{WA} = 3 [dB(A)] (IEC 60064-9条項8)
  - 「測定された騒音排出値および関連する不確かさの合計は、測定で発生する可能性がある値の範囲の上限を示します」 (ISO 4871節B2)
- IEC 60034-9の仕様に従って定格速度、負荷なしで検証された音響パワー。 (IEC 60034条項5.2)
  - 「音響パワーレベルは、全負荷の状態において、通常負荷なしの状態よりも高くなります。一般に、換気騒音が優勢の場合、変化は小さくなります。ただし、電磁雑音が優勢の場合、変化は大きくなる可能性があります」 (IEC 60034-9条項6、注記2)
  - さらに、IEC 60034-9修正票1で説明されているように、騒音レベルの増加は、高調波のレベルが高くなり、これらの構造共鳴が一致する可能性があ (IEC 60034-9修正条項1条項7)

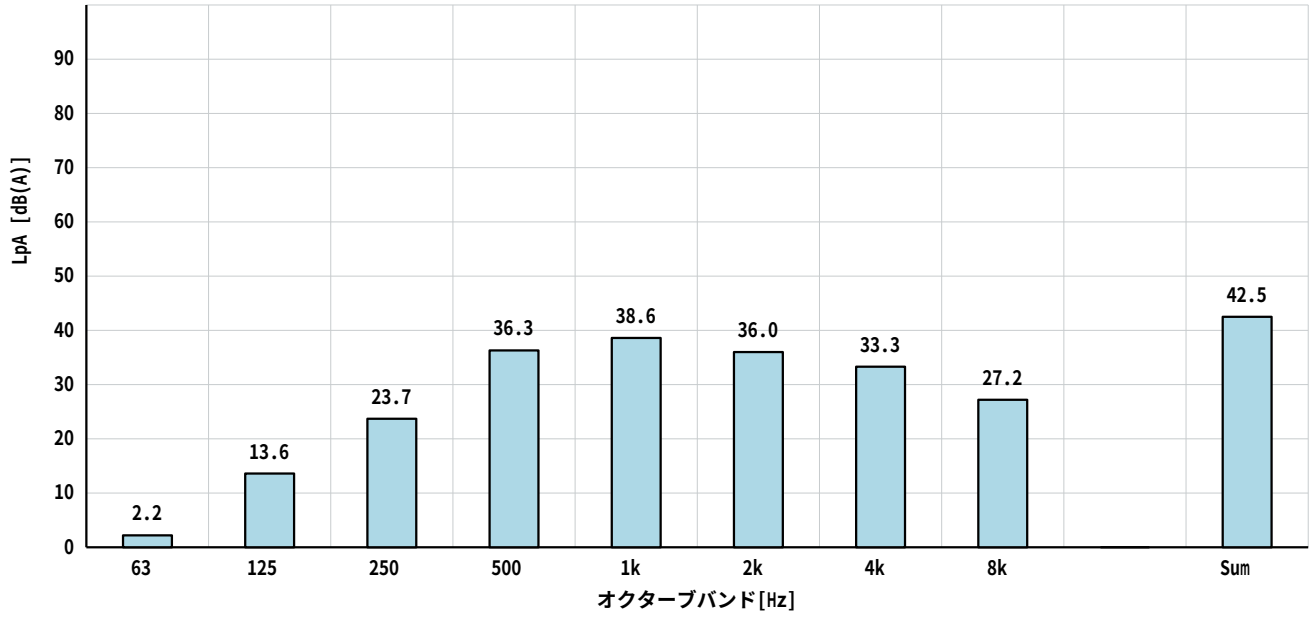
- 距離1 mでの等価騒音レベルL_{pA}は、ISO 11203の方法Q2による音響パワーレベルから決定されます。 (IEC 60034条項5.2)
  - 観測表面領域Sは、音源を覆う箱型で指定されます。ここでは、音源と観測表面間の指定距離1 mで計算します。
  - この方法で取得された排出音圧レベルは、反射面上の自由野に近似した環境条件での領域Sの表面上の音圧の平均です」 (ISO 11203条項6.2.3)

音響測定レポート

ISO 3745

オブジェクト:	電動機タイプ: MLE71A	定格電圧:	[V]
		f:	[Hz]
		P2:	[kW]
		n:	[rpm]
テスト条件:	Load: No load / Idle	サウンド試験:	[V]
		f:	[Hz]
		P2:	[kW]
		n:	[rpm]

コメント:



音圧レベル L_{pA} : 42.5 [dB(A)]

音響パワーレベル L_{WA} : 54.5 [dB(A)]

注記: 参考:

- 音響パワー値L_{WA}はIEC 60034-9、ISO 3745およびISO 4871に従って決定されています。 (IEC 60034-9, ISO 3745 & 4871)
  - 関連する不確かさK_{WA} = 3 [dB(A)] (IEC 60064-9条項8)
  - 「測定された騒音排出値および関連する不確かさの合計は、測定で発生する可能性がある値の範囲の上限を示します」 (ISO 4871節B2)
- IEC 60034-9の仕様に従って定格速度、負荷なしで検証された音響パワー。 (IEC 60034条項5.2)
  - 「音響パワーレベルは、全負荷の状態において、通常負荷なしの状態よりも高くなります。一般に、換気騒音が優勢の場合、変化は小さくなります。ただし、電磁雑音が優勢の場合、変化は大きくなる可能性があります」 (IEC 60034-9条項6、注記2)
  - さらに、IEC 60034-9修正票1で説明されているように、騒音レベルの増加は、高調波のレベルが高くなり、これらの構造共鳴が一致する可能性があ (IEC 60034-9修正条項1条項7)

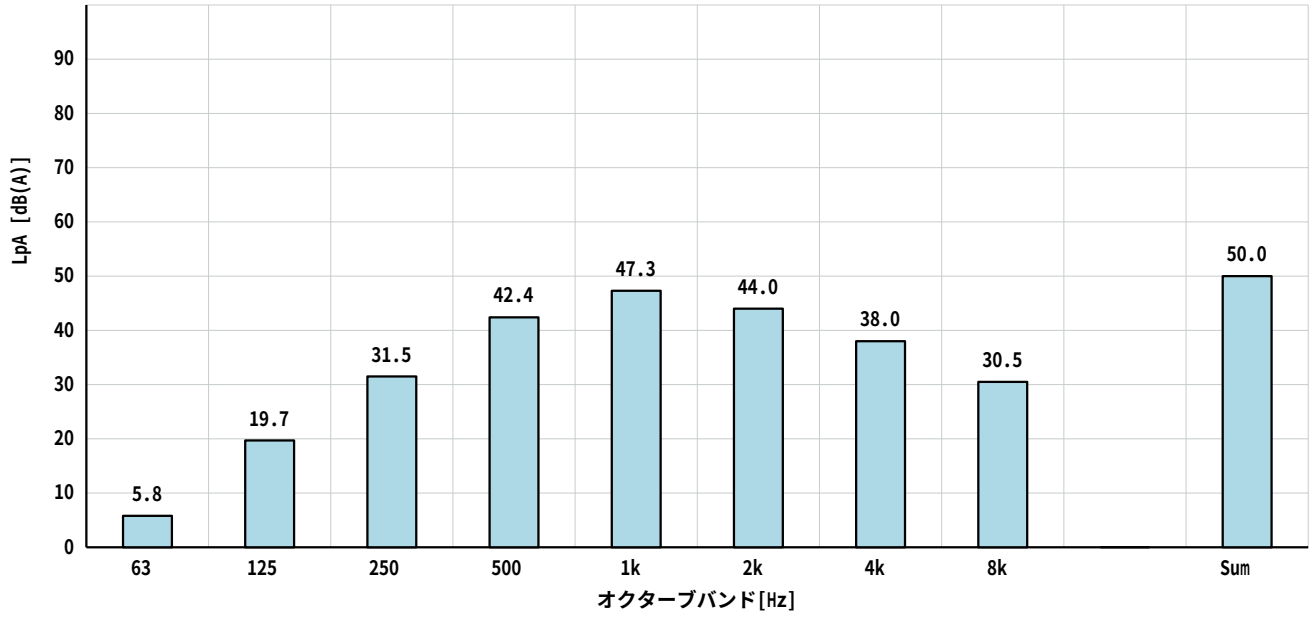
- 距離1 mでの等価騒音レベルL_{pA}は、ISO 11203の方法Q2による音響パワーレベルから決定されます。 (IEC 60034条項5.2)
  - 観測表面領域Sは、音源を覆う箱型で指定されます。ここでは、音源と観測表面間の指定距離1 mで計算します。
  - この方法で取得された排出音圧レベルは、反射面上の自由野に近似した環境条件での領域Sの表面上の音圧の平均です」 (ISO 11203条項6.2.3)

音響測定レポート

ISO 3745

オブジェクト:	電動機タイプ: MLE71A	定格電圧:	[V]
		f:	[Hz]
		P2:	[kW]
		n:	[rpm]
テスト条件:	Load: No load / Idle	サウンド試験:	[V]
		f:	[Hz]
		P2:	[kW]
		n:	[rpm]

コメント:



音圧レベル L_{pA} : 50.0 [dB(A)]

音響パワーレベル L_{WA} : 62.5 [dB(A)]

注記: 参考:

•音響パワー値L_{WA}はIEC 60034-9、ISO 3745およびISO 4871に従って決定されています。 (IEC 60034-9, ISO 3745 & 4871)

- 関連する不確かさK_{WA} = 3 [dB(A)] (IEC 60064-9条項8)
- 「測定された騒音排出値および関連する不確かさの合計は、測定で発生する可能性がある値の範囲の上限を示します」 (ISO 4871節B2)

•IEC 60034-9の仕様に従って定格速度、負荷なしで検証された音響パワー。 (IEC 60034条項5.2)

- 「音響パワーレベルは、全負荷の状態において、通常負荷なしの状態よりも高くなります。一般に、換気騒音が優勢の場合、変化は小さくなります。 ただし、電磁雑音が優勢の場合、変化は大きくなる可能性があります」 (IEC 60034-9条項6、注記2)
- さらに、IEC 60034-9修正票1で説明されているように、騒音レベルの増加は、高調波のレベルが高くなり、これらの構造共鳴が一致する可能性があ (IEC 60034-9修正条項1条項7)

•距離1 mでの等価騒音レベルL_{pA}は、ISO 11203の方法Q2による音響パワーレベルから決定されます。 (IEC 60034条項5.2)

- 観測表面領域Sは、音源を覆う箱型で指定されます。ここでは、音源と観測表面間の指定距離1 mで計算します。
- この方法で取得された排出音圧レベルは、反射面上の自由野に近似した環境条件での領域Sの表面上の音圧の平均です」 (ISO 11203条項6.2.3)

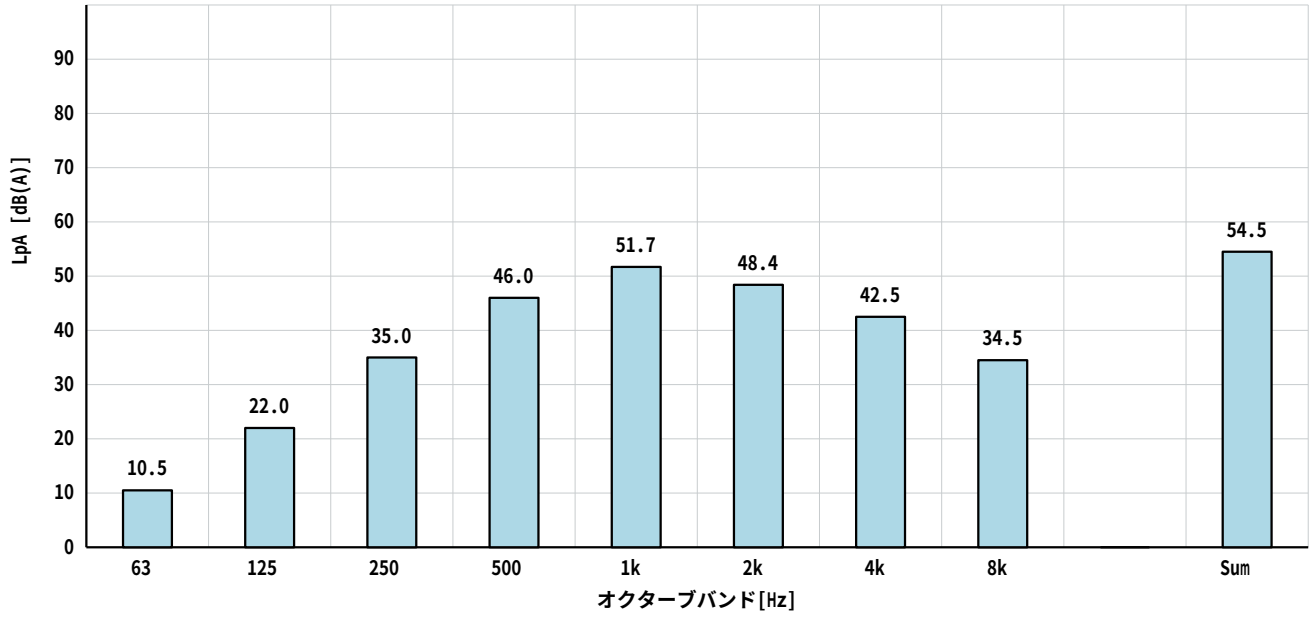
音響測定レポート

ISO 3745

オブジェクト:	電動機タイプ: MLE71A	定格電圧:	[V]
		f:	[Hz]
		P2:	[kW]
		n:	[rpm]

テスト条件:	Load: No load / Idle	サウンド試験:	[V]
		f:	[Hz]
		P2:	[kW]
		n:	[rpm]

コメント:



音圧レベル L_{pA} : 54.5 [dB(A)]

音響パワーレベル L_{WA} : 66.5 [dB(A)]

注記: 参考:

- 音響パワー値L_{WA}はIEC 60034-9、ISO 3745およびISO 4871に従って決定されています。 (IEC 60034-9, ISO 3745 & 4871)
  - 関連する不確かさK_{WA} = 3 [dB(A)] (IEC 60064-9条項8)
  - 「測定された騒音排出値および関連する不確かさの合計は、測定で発生する可能性がある値の範囲の上限を示します」 (ISO 4871節B2)
- IEC 60034-9の仕様に従って定格速度、負荷なしで検証された音響パワー。 (IEC 60034条項5.2)
  - 「音響パワーレベルは、全負荷の状態において、通常負荷なしの状態よりも高くなります。一般に、換気騒音が優勢の場合、変化は小さくなります。ただし、電磁雑音が優勢の場合、変化は大きくなる可能性があります」 (IEC 60034-9条項6、注記2)
  - さらに、IEC 60034-9修正票1で説明されているように、騒音レベルの増加は、高調波のレベルが高くなり、これらの構造共鳴が一致する可能性があ (IEC 60034-9修正条項1条項7)

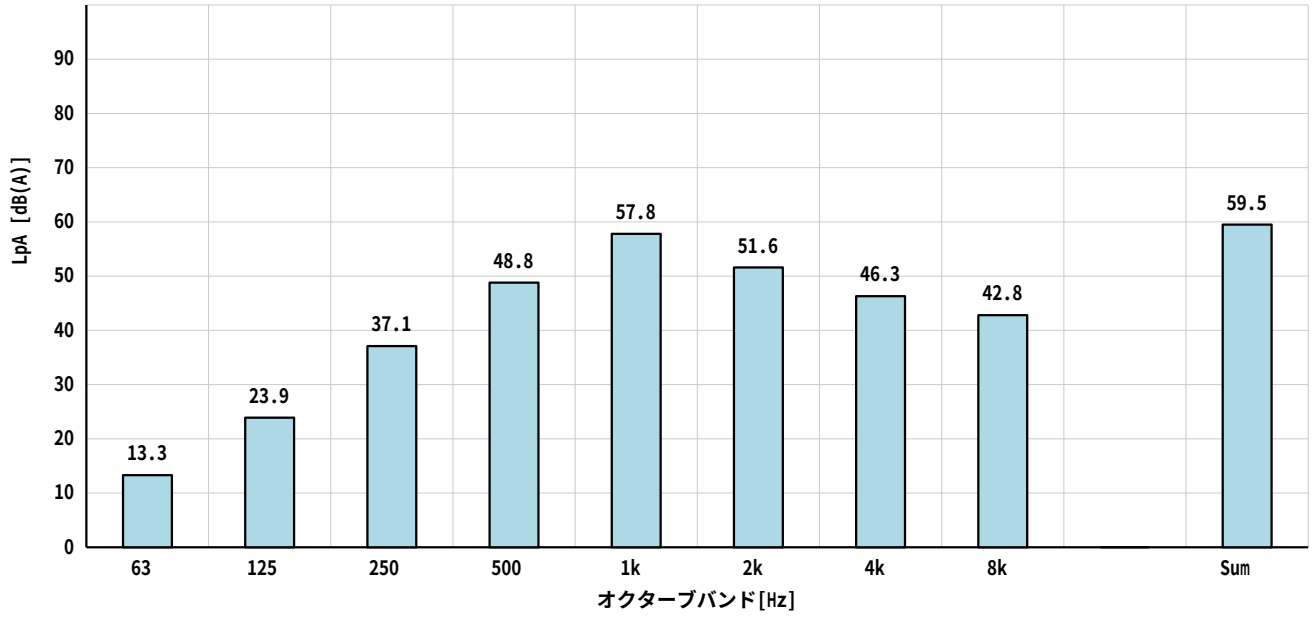
- 距離1 mでの等価騒音レベルL_{pA}は、ISO 11203の方法Q2による音響パワーレベルから決定されます。 (IEC 60034条項5.2)
  - 観測表面領域Sは、音源を覆う箱型で指定されます。ここでは、音源と観測表面間の指定距離1 mで計算します。
  - この方法で取得された排出音圧レベルは、反射面上の自由野に近似した環境条件での領域Sの表面上の音圧の平均です」 (ISO 11203条項6.2.3)

音響測定レポート

ISO 3745

オブジェクト:	電動機タイプ: MLE71A	定格電圧:	[V]
		f:	[Hz]
		P2:	[kW]
		n:	[rpm]
テスト条件:	Load: No load / Idle	サウンド試験:	[V]
		f:	[Hz]
		P2:	[kW]
		n:	[rpm]

コメント:



音圧レベル L_{pA} : 59.5 [dB(A)]

音響パワーレベル L_{WA} : 71.5 [dB(A)]

注記: 参考:

- 音響パワー値L_{WA}はIEC 60034-9、ISO 3745およびISO 4871に従って決定されています。 (IEC 60034-9, ISO 3745 & 4871)
  - 関連する不確かさK_{WA} = 3 [dB(A)] (IEC 60064-9条項8)
  - 「測定された騒音排出値および関連する不確かさの合計は、測定で発生する可能性がある値の範囲の上限を示します」 (ISO 4871節B2)
- IEC 60034-9の仕様に従って定格速度、負荷なしで検証された音響パワー。 (IEC 60034条項5.2)
  - 「音響パワーレベルは、全負荷の状態において、通常負荷なしの状態よりも高くなります。一般に、換気騒音が優勢の場合、変化は小さくなります。ただし、電磁雑音が優勢の場合、変化は大きくなる可能性があります」 (IEC 60034-9条項6、注記2)
  - さらに、IEC 60034-9修正票1で説明されているように、騒音レベルの増加は、高調波のレベルが高くなり、これらの構造共鳴が一致する可能性があ (IEC 60034-9修正条項1条項7)

- 距離1 mでの等価騒音レベルL_{pA}は、ISO 11203の方法Q2による音響パワーレベルから決定されます。 (IEC 60034条項5.2)
  - 観測表面領域Sは、音源を覆う箱型で指定されます。ここでは、音源と観測表面間の指定距離1 mで計算します。
  - この方法で取得された排出音圧レベルは、反射面上の自由野に近似した環境条件での領域Sの表面上の音圧の平均です」 (ISO 11203条項6.2.3)